

実施設計を踏まえた 概算整備費と収支見通しについて

令和7年7月16日協議会
公立沖縄北部医療センター整備協議会事務局
(沖縄県北部医療組合)

[整備費]

- 実施設計に基づく概算整備費……………p 2
- 整備財源のイメージ……………p 3
- 年度ごとの整備費及びハード交付金の推計……………p 4

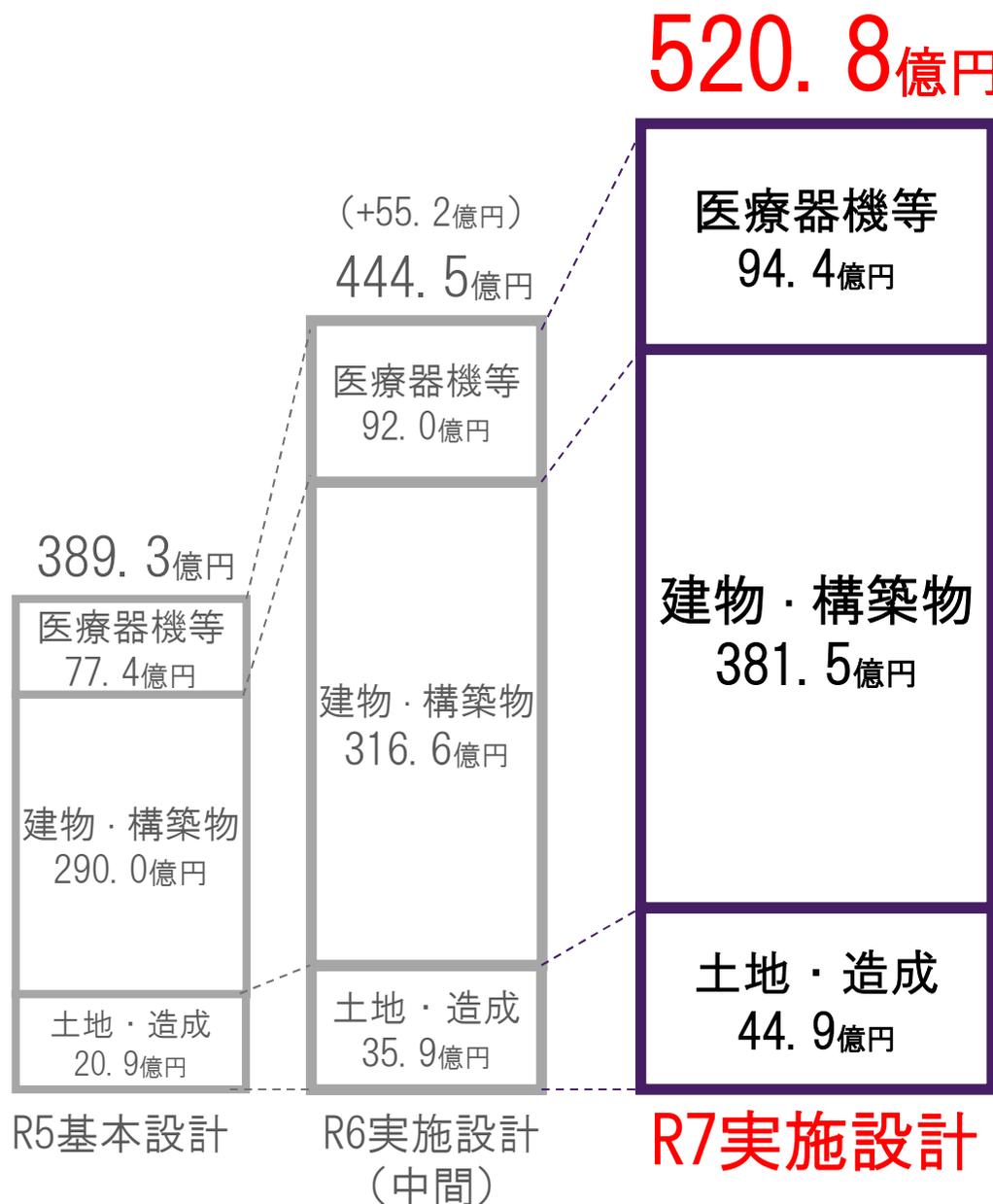
[収支見通し]

- 収支見通し（前提条件）……………p 5
- // （自然体）……………p 6
- // （参考：前回自然体）……………p 7
- // （基金計画シナリオ）……………p 8
- // （基金計画シナリオ／分析）……………p 9
- // （整備費削減＋基金計画シナリオ）……………p 10
- // （整備費削減＋基金計画増額シナリオ）……………p 11
- // （整備費削減＋基金計画増額＋ハード交付金10億円増額シナリオ）……………p 12
- // （整備費削減＋基金計画増額＋ハード交付金20億円増額シナリオ）……………p 13

[まとめ]

- 今後の取組の方向性……………p 14

➤ 実施設計に基づく概算整備費



〔 +76.3億円 (+17.2%) 〕

● 整備費内訳

	(億円)
【医療器機等】	94.4
◇ 医療器機	76.9
◇ 情報システム	17.5

【設計委託等】	9.2
【建物本体】	425.7
◇ 建築工事	224.2
・ 診療棟	195.2
・ 別館棟	29.0
◇ 設備工事	201.5
・ 電気工	101.6
・ 機械工	99.7

【院内保育所】	3.5
【E S 事業】	▲56.9

【土地購入】	9.5
【造成工事】	35.4

● 主な増加要因

【医療器機等】

- ・ 物価高騰等による見積価格の増
- ・ 人手不足対応等に係る医療支援システム等の増

【建物・構築物】

- ・ 物価高騰等による建築単価の増
中間報告時 70.0万円/㎡
今回 87.3万円/㎡ (+24.7%)
- ・ 地盤支持層が深度50mと判明したことに伴う杭延長による増

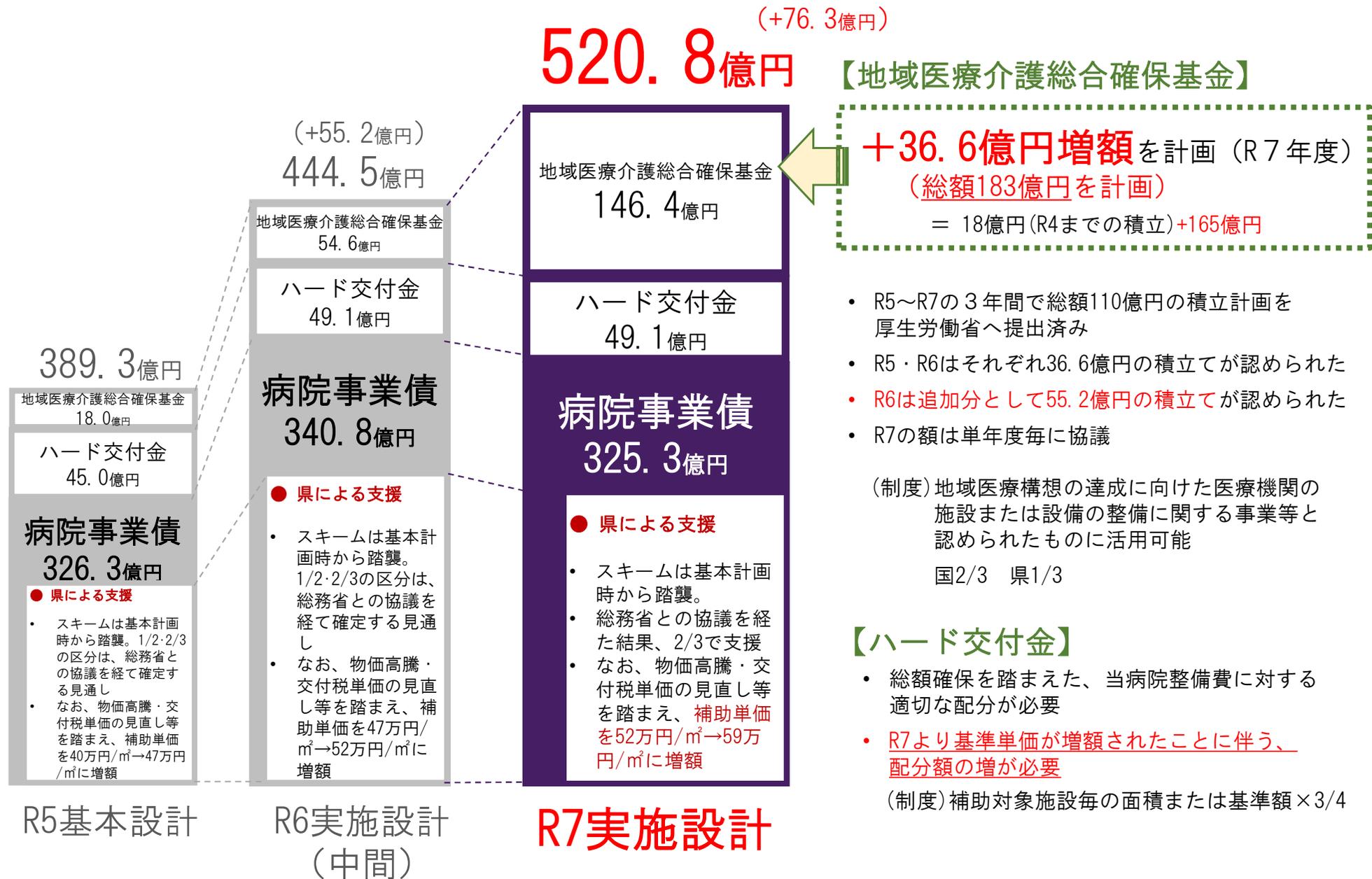
- ・ E S 事業[※]導入によるエネルギー関連設備の減

【土地・造成】

- ・ 擁壁の新設等による造成費の増
- ・ 汚染土壌対策による造成費の増

※ ES (エネルギーサービス) 事業は、電気・ガス等のエネルギー関連設備に関して、設計・施工・運転・保守管理まで民間事業者が包括的に提供するサービス
病院側で設備を所有しないため、イニシャルコストの低減が可能。
基本協定を締結済みであり、導入に向け事業者と調整中

➤ 整備財源のイメージ（現行制度を踏まえた想定）



▶ 年度ごとの整備費及びハード交付金の推計

- ハード交付金については、総額確保を踏まえた、当病院整備費に対する適切な配分が必要。
- また、**令和7年度より基準単価が増額**されたことに伴う、**配分額の増が必要**。

(億円)

		R7	R8	R9	計
整備費 (建物工事、造成工事、監理委託等)		68.1	144.5	300.6	513.2
うち ハード 交付 金	ハード交付金 (現計画額)	9.8	14.8	24.5	49.1
	ハード交付金 (基準額ベース)	12.0	24.0	47.9	83.9
	差額 (基準額に対する 現計画額の不足額)	2.2	9.2	23.4	34.8

- ✓ 設計費用は含んでいないため、2ページ目の整備費の合計額とは一致しない。
- ✓ 今回の推計、現在想定される進捗度合により推計しているため、今後の進捗度合によっては変更が生じることに留意。

➤ 収支見通し（前提条件）

◆ 主な前提条件は次のとおり

（収入面）

- ・ 診療報酬の改定率は、R6年度改定率（0.88%）を採用
- ・ 一般病床及び地域包括ケア病床の診療報酬単価は、県立北部病院と北部地区医師会病院の平均値を採用するとともに、病床稼働率は90%で見込む
- ・ 検討中の国庫補助制度等は、ハード交付金49.1億円、地域医療介護総合確保基金146.4億円を見込む
- ・ 県による支援は、建設単価は増額後の59万円/m²・対象事業債はすべて特別分と仮定し2/3補助を見込む

（支出面）

- ・ 医業収益に占める給与費比率等は、基本合意書に基づき北部地区医師会病院の水準を採用
- ・ 医療器機をはじめとする減価償却資産は、耐用年数経過後、直ちに更新投資を実施するものと見込む
- ・ 光熱費においてE S事業導入に伴う経費を計上
- ・ 病院事業債の借入条件、金利水準はそれぞれ次のとおり
 - 土地・建物等 30年債（5年据置、年利2.450%）
 - 器機備品 耐用年数に応じ、5年債又は10年債（いずれも1年据置、年利1.100又は1.400%）
 ※地方公共団体金融機構等からの借入を想定

○ 前回推計との主な相違点

（収入面）

- ・ 入院及び外来医業収益の単価を更新：R5単価 → R6単価
- ・ 緩和ケア病棟分14床を追加し、診療報酬単価は緩和ケア病棟入院料2（48,970円）を採用するとともに、病床稼働率は80%で見込む
- ・ 地域医療介護総合確保基金を R6追加交付分のみ増額：54.6億円 → 146.4億円（+91.6億円）

（支出面）

- ・ 現在の医療情勢を踏まえた上で、給与費、材料費、経費の医業収益に占める比率を更新：H28～R1, R5平均 → R5・R6平均（コロナ禍後）
- ・ 病院事業債借入利息において借入利率を更新：30年債 年利1.600% → 年利2.450%
10年債 年利0.700% → 年利1.400%
5年債 年利0.400% → 年利1.100%

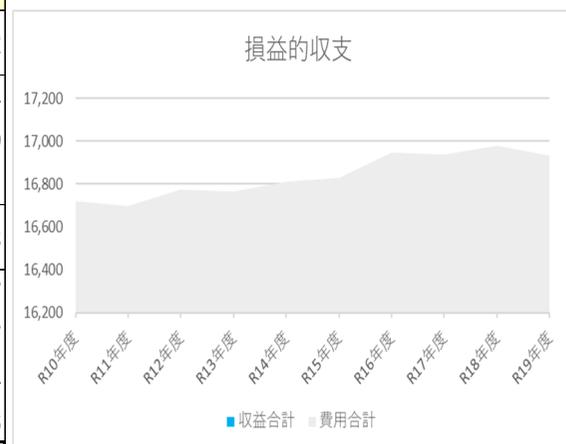
- ✓ なお、今回の算定は、県立北部病院・北部医師会病院の過年度実績、基本合意書に定められた諸条件、現行補助制度及び現時点の貸付条件等をもとに機械的に算定したものであり、更なる物価高騰等に伴う物品・光熱水費や給与費水準等の変動可能性、医療機能の向上に伴う収益伸長の可能性、市町村から委譲があった場合の診療所収益などの変動要因は算定上考慮していない

➤ 収支見通し（自然体）

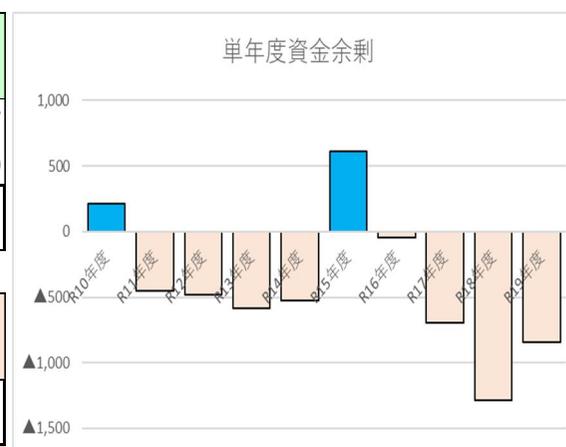
◆ 実施設計に基づく概算整備費520.8億円の場合

単位：百万円

損益的収支	R10年度 (1年目)	R11年度 (2年目)	R12年度 (3年目)	R13年度 (4年目)	R14年度 (5年目)	R15年度 (6年目)	R16年度 (7年目)	R17年度 (8年目)	R18年度 (9年目)	R19年度 (10年目)
収益合計	16,629	16,620	16,721	16,733	16,798	16,698	16,754	16,760	16,824	16,802
1 医業収益	14,112	14,112	14,223	14,251	14,336	14,336	14,449	14,477	14,564	14,564
2 医業外収益 (うち長期前受金戻入)	2,518	2,509	2,498	2,482	2,462	2,362	2,305	2,283	2,261	2,239
	(1,507)	(1,507)	(1,507)	(1,507)	(1,507)	(1,409)	(1,355)	(1,355)	(1,355)	(1,355)
費用合計	16,721	16,697	16,775	16,767	16,809	16,828	16,949	16,936	16,977	16,933
1 給与費	8,316	8,316	8,383	8,399	8,450	8,450	8,518	8,535	8,587	8,587
2 材料費・経費	4,528	4,528	4,563	4,571	4,597	4,597	4,632	4,641	4,667	4,667
3 減価償却費	2,624	2,624	2,624	2,624	2,624	2,624	2,624	2,624	2,624	2,624
4 医業外費用他	1,253	1,229	1,206	1,173	1,138	1,156	1,175	1,137	1,100	1,056
経常収支	▲92	▲76	▲54	▲34	▲11	▲129	▲195	▲177	▲153	▲131



資本的収支	R10年度 (1年目)	R11年度 (2年目)	R12年度 (3年目)	R13年度 (4年目)	R14年度 (5年目)	R15年度 (6年目)	R16年度 (7年目)	R17年度 (8年目)	R18年度 (9年目)	R19年度 (10年目)
資本的収入合計	660	1,066	1,164	1,394	1,274	3,795	5,856	1,648	2,258	1,477
資本的支出合計	1,470	2,562	2,710	3,062	2,906	4,267	6,974	3,435	4,660	3,460
資本収支	▲811	▲1,495	▲1,547	▲1,668	▲1,632	▲472	▲1,119	▲1,786	▲2,402	▲1,983



資金余剰	R10年度 (1年目)	R11年度 (2年目)	R12年度 (3年目)	R13年度 (4年目)	R14年度 (5年目)	R15年度 (6年目)	R16年度 (7年目)	R17年度 (8年目)	R18年度 (9年目)	R19年度 (10年目)
単年度資金余剰	215	▲455	▲483	▲585	▲526	613	▲45	▲693	▲1,285	▲845

※単年度資金余剰＝経常収支＋資本収支＋減価償却費－長期前受金戻入

※端数調整のため合計は一致しない

10年後資金残高 **▲4,090**

➤ 【参考】 前回収支見通し（自然体）

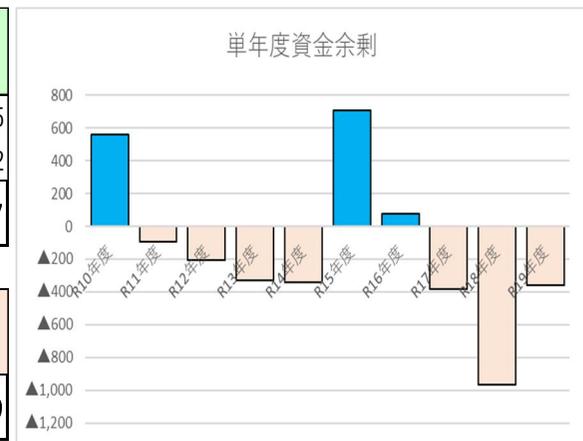
◆ 中間報告時点に基づく概算整備費444.5億円の場合

単位：百万円

損益的収支	R10年度 (1年目)	R11年度 (2年目)	R12年度 (3年目)	R13年度 (4年目)	R14年度 (5年目)	R15年度 (6年目)	R16年度 (7年目)	R17年度 (8年目)	R18年度 (9年目)	R19年度 (10年目)
収益合計	15,927	15,924	16,026	16,042	16,115	16,012	16,057	16,071	16,142	16,132
1 医業収益	13,750	13,750	13,858	13,885	13,967	13,967	14,078	14,105	14,189	14,189
2 医業外収益	2,178	2,174	2,168	2,158	2,148	2,045	1,979	1,966	1,953	1,943
(うち長期前受金戻入)	(1,301)	(1,301)	(1,301)	(1,301)	(1,301)	(1,204)	(1,150)	(1,150)	(1,150)	(1,150)
費用合計	15,832	15,823	15,913	15,919	15,981	15,980	16,073	16,077	16,134	16,117
1 給与費	8,060	8,060	8,125	8,141	8,190	8,190	8,256	8,272	8,323	8,323
2 材料費・経費	4,335	4,335	4,369	4,377	4,403	4,403	4,438	4,446	4,473	4,473
3 減価償却費	2,423	2,423	2,423	2,423	2,423	2,423	2,423	2,423	2,423	2,423
4 医業外費用他	1,014	1,005	996	977	965	963	956	935	916	899
経常収支	95	101	113	123	134	33	▲16	▲6	8	15



資本的収支	R10年度 (1年目)	R11年度 (2年目)	R12年度 (3年目)	R13年度 (4年目)	R14年度 (5年目)	R15年度 (6年目)	R16年度 (7年目)	R17年度 (8年目)	R18年度 (9年目)	R19年度 (10年目)
資本的収入合計	407	813	1,053	1,337	971	3,748	5,786	1,416	1,977	1,095
資本的支出合計	1,064	2,129	2,496	2,913	2,568	4,292	6,966	3,070	4,229	2,742
資本収支	▲658	▲1,316	▲1,442	▲1,576	▲1,597	▲543	▲1,180	▲1,653	▲2,252	▲1,647



資金余剰	R10年度 (1年目)	R11年度 (2年目)	R12年度 (3年目)	R13年度 (4年目)	R14年度 (5年目)	R15年度 (6年目)	R16年度 (7年目)	R17年度 (8年目)	R18年度 (9年目)	R19年度 (10年目)
単年度資金余剰	560	▲93	▲207	▲330	▲341	708	78	▲384	▲969	▲359

※単年度資金余剰＝経常収支＋資本収支＋減価償却費－長期前受金戻入

※端数調整のため合計は一致しない

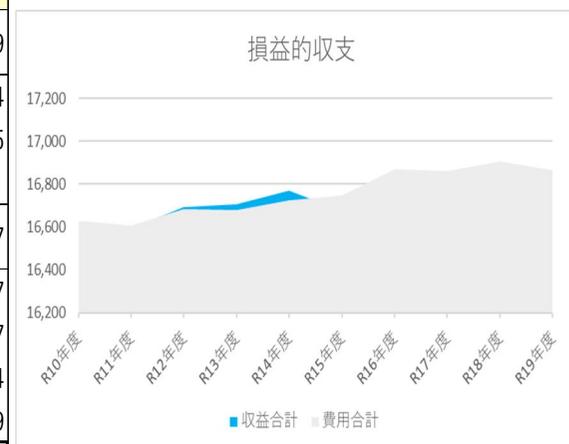
10年後資金残高 ▲1,338

➤ 収支見通し（基金計画シナリオ）

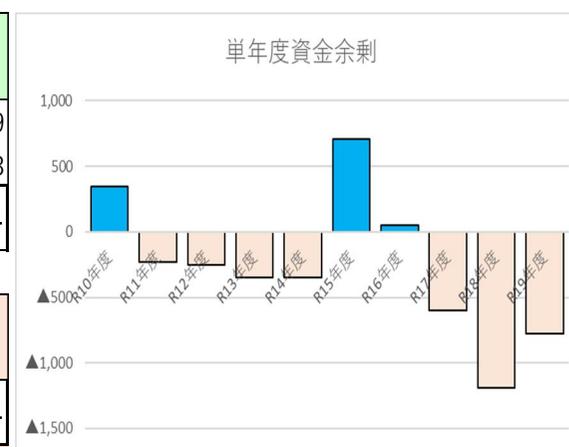
◆ 地域医療介護総合確保基金を計画どおり確保し総額183億円とした場合

単位：百万円

損益的収支	R10年度 (1年目)	R11年度 (2年目)	R12年度 (3年目)	R13年度 (4年目)	R14年度 (5年目)	R15年度 (6年目)	R16年度 (7年目)	R17年度 (8年目)	R18年度 (9年目)	R19年度 (10年目)
収益合計	16,601	16,592	16,693	16,705	16,772	16,675	16,733	16,742	16,809	16,789
1 医業収益	14,112	14,112	14,223	14,251	14,336	14,336	14,449	14,477	14,564	14,564
2 医業外収益 (うち長期前受金戻入)	2,489	2,480	2,470	2,455	2,437	2,340	2,284	2,265	2,245	2,225
	(1,538)	(1,538)	(1,538)	(1,538)	(1,538)	(1,440)	(1,386)	(1,386)	(1,386)	(1,386)
費用合計	16,631	16,607	16,686	16,679	16,724	16,746	16,871	16,862	16,907	16,867
1 給与費	8,316	8,316	8,383	8,399	8,450	8,450	8,518	8,535	8,587	8,587
2 材料費・経費	4,528	4,528	4,563	4,571	4,597	4,597	4,632	4,641	4,667	4,667
3 減価償却費	2,624	2,624	2,624	2,624	2,624	2,624	2,624	2,624	2,624	2,624
4 医業外費用他	1,163	1,139	1,117	1,085	1,053	1,075	1,097	1,063	1,029	989
経常収支	▲31	▲15	7	27	48	▲71	▲138	▲121	▲98	▲78



資本的収支	R10年度 (1年目)	R11年度 (2年目)	R12年度 (3年目)	R13年度 (4年目)	R14年度 (5年目)	R15年度 (6年目)	R16年度 (7年目)	R17年度 (8年目)	R18年度 (9年目)	R19年度 (10年目)
資本的収入合計	660	1,066	1,149	1,350	1,176	3,697	5,758	1,551	2,160	1,379
資本的支出合計	1,470	2,562	2,688	2,996	2,760	4,120	6,828	3,288	4,514	3,313
資本収支	▲811	▲1,495	▲1,539	▲1,646	▲1,584	▲423	▲1,070	▲1,738	▲2,353	▲1,934



資金余剰	R10年度 (1年目)	R11年度 (2年目)	R12年度 (3年目)	R13年度 (4年目)	R14年度 (5年目)	R15年度 (6年目)	R16年度 (7年目)	R17年度 (8年目)	R18年度 (9年目)	R19年度 (10年目)
単年度資金余剰	245	▲425	▲446	▲534	▲449	689	30	▲620	▲1,213	▲774

※単年度資金余剰＝経常収支＋資本収支＋減価償却費－長期前受金戻入

※端数調整のため合計は一致しない

10年後資金残高 **▲3,497**

➤ 収支見通し（基金計画シナリオ／分析）

- ◆ 損益的収支は、地域医療介護総合確保基金を計画どおり総額183億円（18億円+165億円）確保することにより、各年度の長期前受金戻入益が増加するものの、赤字の状況が多く、経常収支は厳しい見通し
- ◆ 一方で資本的収支は、病院事業債の償還や医療器機等の更新投資負担が重く、計画どおり183億円確保した場合でも、10年後には約35億円の資金不足が生じる見込み

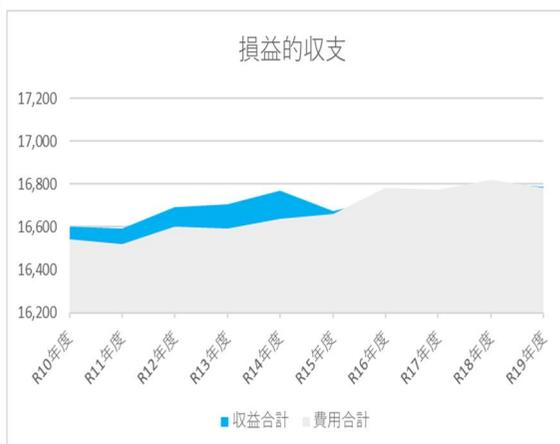
➤ 収支見通し（整備費削減＋基金計画シナリオ）

◆ 整備費を5億円削減、かつ基金を計画どおり確保し総額183億円とした場合

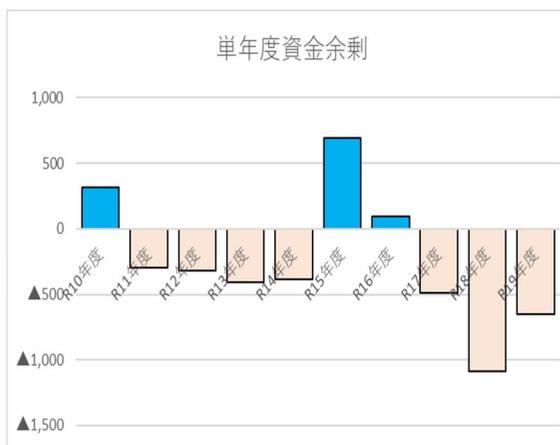
（医療器機等▲5億円、整備費総額515.8億円）

単位：百万円

損益的収支	R10年度 (1年目)	R11年度 (2年目)	R12年度 (3年目)	R13年度 (4年目)	R14年度 (5年目)	R15年度 (6年目)	R16年度 (7年目)	R17年度 (8年目)	R18年度 (9年目)	R19年度 (10年目)
収益合計	16,601	16,592	16,693	16,705	16,772	16,675	16,733	16,742	16,809	16,789
1 医業収益	14,112	14,112	14,223	14,251	14,336	14,336	14,449	14,477	14,564	14,564
2 医業外収益 (うち長期前受金戻入)	2,489 (1,538)	2,480 (1,538)	2,470 (1,538)	2,455 (1,538)	2,437 (1,538)	2,340 (1,440)	2,284 (1,386)	2,265 (1,386)	2,245 (1,386)	2,225 (1,386)
費用合計	16,543	16,520	16,600	16,594	16,641	16,660	16,783	16,775	16,821	16,782
1 給与費	8,316	8,316	8,383	8,399	8,450	8,450	8,518	8,535	8,587	8,587
2 材料費・経費	4,528	4,528	4,563	4,571	4,597	4,597	4,632	4,641	4,667	4,667
3 減価償却費	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541
4 医業外費用他	1,158	1,135	1,114	1,084	1,053	1,072	1,092	1,059	1,027	988
経常収支	58	72	93	111	132	15	▲50	▲34	▲13	7



資本的収支	R10年度 (1年目)	R11年度 (2年目)	R12年度 (3年目)	R13年度 (4年目)	R14年度 (5年目)	R15年度 (6年目)	R16年度 (7年目)	R17年度 (8年目)	R18年度 (9年目)	R19年度 (10年目)
資本的収入合計	660	1,066	1,149	1,350	1,176	3,697	5,258	1,551	2,160	1,379
資本的支出合計	1,408	2,437	2,563	2,871	2,697	4,120	6,265	3,163	4,389	3,188
資本収支	▲748	▲1,370	▲1,414	▲1,521	▲1,521	▲423	▲1,007	▲1,613	▲2,228	▲1,809



資金余剰	R10年度 (1年目)	R11年度 (2年目)	R12年度 (3年目)	R13年度 (4年目)	R14年度 (5年目)	R15年度 (6年目)	R16年度 (7年目)	R17年度 (8年目)	R18年度 (9年目)	R19年度 (10年目)
単年度資金余剰	313	▲296	▲319	▲407	▲387	692	98	▲491	▲1,086	▲648

※単年度資金余剰＝経常収支＋資本収支＋減価償却費－長期前受金戻入

※端数調整のため合計は一致しない

10年後資金残高 ▲2,532

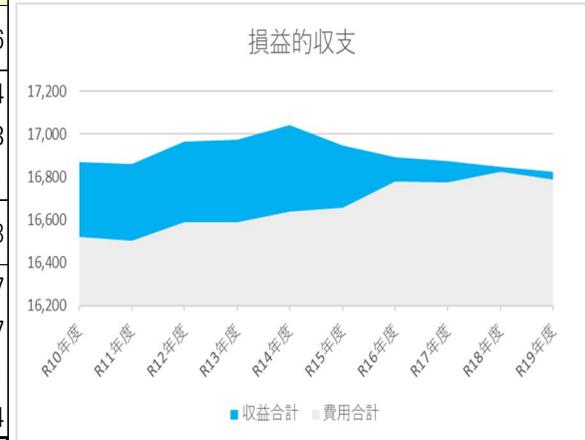
➤ 収支見通し（整備費削減＋基金増額シナリオ）

◆ 整備費を5億円削減、かつ基金計画を20億円増額し総額203億円とした場合

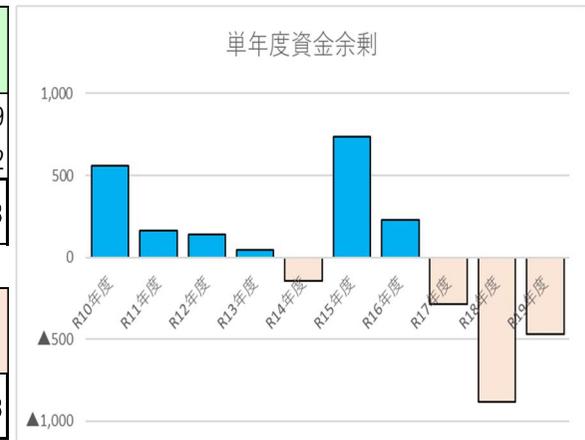
（医療器機等▲5億円、整備費総額515.8億円）

単位：百万円

損益の収支	R10年度 (1年目)	R11年度 (2年目)	R12年度 (3年目)	R13年度 (4年目)	R14年度 (5年目)	R15年度 (6年目)	R16年度 (7年目)	R17年度 (8年目)	R18年度 (9年目)	R19年度 (10年目)
収益合計	16,871	16,862	16,963	16,976	17,043	16,945	16,893	16,877	16,846	16,826
1 医業収益	14,112	14,112	14,223	14,251	14,336	14,336	14,449	14,477	14,564	14,564
2 医業外収益	2,760	2,751	2,740	2,725	2,707	2,610	2,444	2,400	2,282	2,263
（うち長期前受金戻入）	(1,808)	(1,808)	(1,808)	(1,808)	(1,808)	(1,711)	(1,546)	(1,521)	(1,424)	(1,424)
費用合計	16,521	16,503	16,588	16,588	16,638	16,654	16,778	16,776	16,825	16,788
1 給与費	8,316	8,316	8,383	8,399	8,450	8,450	8,518	8,535	8,587	8,587
2 材料費・経費	4,528	4,528	4,563	4,571	4,597	4,597	4,632	4,641	4,667	4,667
3 減価償却費	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541
4 医業外費用他	1,136	1,119	1,103	1,077	1,050	1,067	1,087	1,061	1,030	994
経常収支	350	359	375	388	405	291	115	100	21	38



資本的収支	R10年度 (1年目)	R11年度 (2年目)	R12年度 (3年目)	R13年度 (4年目)	R14年度 (5年目)	R15年度 (6年目)	R16年度 (7年目)	R17年度 (8年目)	R18年度 (9年目)	R19年度 (10年目)
資本的収入合計	660	1,066	1,149	1,350	1,176	3,697	5,258	1,551	2,160	1,379
資本的支出合計	1,185	1,992	2,119	2,426	2,455	4,080	6,142	2,957	4,182	3,002
資本収支	▲526	▲926	▲970	▲1,077	▲1,279	▲383	▲884	▲1,406	▲2,022	▲1,623



資金余剰	R10年度 (1年目)	R11年度 (2年目)	R12年度 (3年目)	R13年度 (4年目)	R14年度 (5年目)	R15年度 (6年目)	R16年度 (7年目)	R17年度 (8年目)	R18年度 (9年目)	R19年度 (10年目)
単年度資金余剰	556	165	137	44	▲142	738	226	▲286	▲883	▲468

※単年度資金余剰＝経常収支＋資本収支＋減価償却費－長期前受金戻入

※端数調整のため合計は一致しない

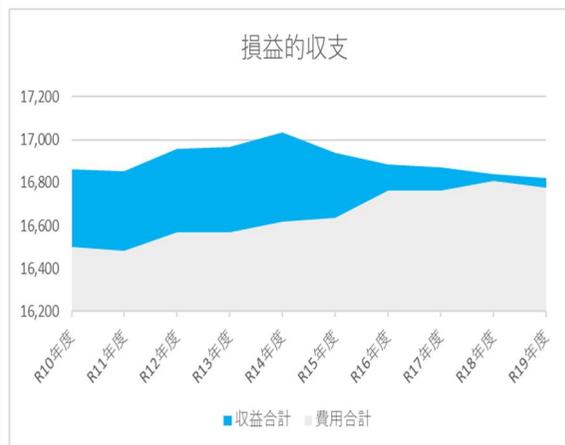
10年後資金残高 **89**

➤ 収支見通し（整備費削減＋基金増額＋ハード交付金10億円増額シナリオ）

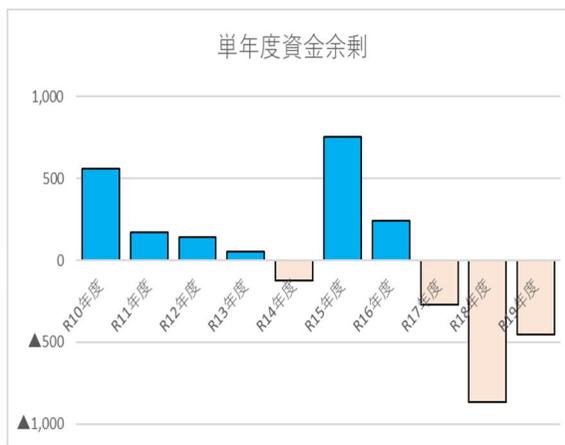
◆ **整備費を5億円削減、基金を20億円増額し、かつハード交付金を10億円増額とした場合**
 （医療器機等▲5億円、整備費総額515.8億円）

単位：百万円

損益的収支	R10年度 (1年目)	R11年度 (2年目)	R12年度 (3年目)	R13年度 (4年目)	R14年度 (5年目)	R15年度 (6年目)	R16年度 (7年目)	R17年度 (8年目)	R18年度 (9年目)	R19年度 (10年目)
収益合計	16,863	16,854	16,955	16,968	17,035	16,939	16,887	16,872	16,842	16,823
1 医業収益	14,112	14,112	14,223	14,251	14,336	14,336	14,449	14,477	14,564	14,564
2 医業外収益 (うち長期前受金戻入)	2,752 (1,817)	2,743 (1,817)	2,732 (1,817)	2,718 (1,817)	2,700 (1,817)	2,603 (1,719)	2,438 (1,554)	2,394 (1,530)	2,278 (1,432)	2,259 (1,432)
費用合計	16,502	16,484	16,569	16,569	16,619	16,637	16,762	16,761	16,810	16,775
1 給与費	8,316	8,316	8,383	8,399	8,450	8,450	8,518	8,535	8,587	8,587
2 材料費・経費	4,533	4,533	4,568	4,576	4,602	4,602	4,637	4,646	4,672	4,672
3 減価償却費	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541
4 医業外費用他	1,112	1,094	1,078	1,053	1,027	1,044	1,066	1,040	1,011	975
経常収支	362	370	386	400	416	302	126	111	31	48



資本的収支	R10年度 (1年目)	R11年度 (2年目)	R12年度 (3年目)	R13年度 (4年目)	R14年度 (5年目)	R15年度 (6年目)	R16年度 (7年目)	R17年度 (8年目)	R18年度 (9年目)	R19年度 (10年目)
資本的収入合計	660	1,066	1,149	1,342	1,149	3,670	5,231	1,524	2,134	1,353
資本的支出合計	1,185	1,992	2,119	2,414	2,415	4,040	6,102	2,917	4,142	2,962
資本収支	▲526	▲926	▲970	▲1,073	▲1,265	▲369	▲870	▲1,393	▲2,009	▲1,609



資金余剰	R10年度 (1年目)	R11年度 (2年目)	R12年度 (3年目)	R13年度 (4年目)	R14年度 (5年目)	R15年度 (6年目)	R16年度 (7年目)	R17年度 (8年目)	R18年度 (9年目)	R19年度 (10年目)
単年度資金余剰	560	168	140	51	▲125	754	241	▲271	▲868	▲453

※単年度資金余剰＝経常収支＋資本収支＋減価償却費－長期前受金戻入

※端数調整のため合計は一致しない

10年後資金残高 **197**

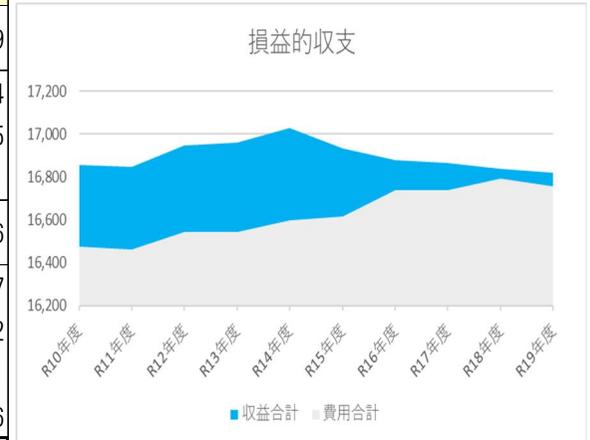
➤ 収支見通し（整備費削減＋基金増額＋ハード交付金20億円増額シナリオ）

◆ 整備費を5億円削減、基金を20億円増額し、かつハード交付金を20億円増額とした場合

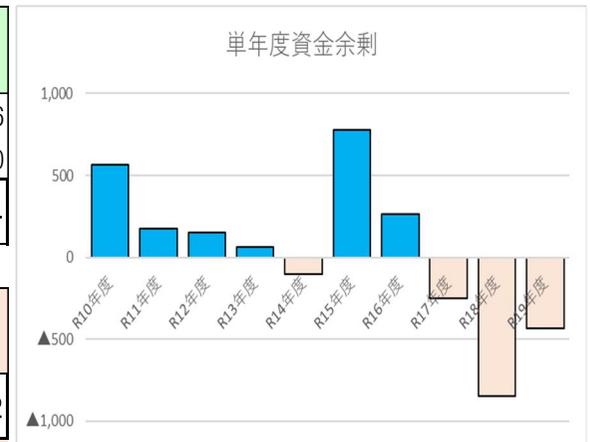
（医療器機等▲5億円、整備費総額515.8億円）

単位：百万円

損益的収支	R10年度 (1年目)	R11年度 (2年目)	R12年度 (3年目)	R13年度 (4年目)	R14年度 (5年目)	R15年度 (6年目)	R16年度 (7年目)	R17年度 (8年目)	R18年度 (9年目)	R19年度 (10年目)
収益合計	16,856	16,847	16,948	16,960	17,028	16,933	16,881	16,866	16,837	16,819
1 医業収益	14,112	14,112	14,223	14,251	14,336	14,336	14,449	14,477	14,564	14,564
2 医業外収益	2,744	2,735	2,724	2,710	2,693	2,597	2,432	2,389	2,273	2,255
（うち長期前受金戻入）	(1,825)	(1,825)	(1,825)	(1,825)	(1,825)	(1,728)	(1,563)	(1,538)	(1,441)	(1,441)
費用合計	16,477	16,459	16,544	16,544	16,596	16,614	16,740	16,740	16,791	16,756
1 給与費	8,316	8,316	8,383	8,399	8,450	8,450	8,518	8,535	8,587	8,587
2 材料費・経費	4,533	4,533	4,568	4,576	4,602	4,602	4,637	4,646	4,672	4,672
3 減価償却費	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541	2,541
4 医業外費用他	1,087	1,070	1,053	1,028	1,003	1,022	1,044	1,019	991	956
経常収支	379	387	403	416	433	318	141	126	46	63



資本的収支	R10年度 (1年目)	R11年度 (2年目)	R12年度 (3年目)	R13年度 (4年目)	R14年度 (5年目)	R15年度 (6年目)	R16年度 (7年目)	R17年度 (8年目)	R18年度 (9年目)	R19年度 (10年目)
資本的収入合計	660	1,066	1,149	1,334	1,123	3,644	5,205	1,497	2,107	1,326
資本的支出合計	1,185	1,991	2,117	2,400	2,373	3,998	6,060	2,875	4,100	2,920
資本収支	▲526	▲925	▲968	▲1,067	▲1,250	▲354	▲855	▲1,378	▲1,993	▲1,594



資金余剰	R10年度 (1年目)	R11年度 (2年目)	R12年度 (3年目)	R13年度 (4年目)	R14年度 (5年目)	R15年度 (6年目)	R16年度 (7年目)	R17年度 (8年目)	R18年度 (9年目)	R19年度 (10年目)
単年度資金余剰	568	177	150	65	▲102	777	264	▲249	▲846	▲432

※単年度資金余剰＝経常収支＋資本収支＋減価償却費－長期前受金戻入

※端数調整のため合計は一致しない

10年後資金残高 **372**

➤ 今後の方向性

- ◆ 整備費の削減に当たっては、基幹病院としての医療機能とのバランスを踏まえつつ、設備投資等の優先順位を設定した上で、将来対応などを視野に検討を行うことが不可欠
 - ◆ 財源確保の取組については、将来に亘る安定的な経営を図る観点から、ハード交付金や地域医療介護総合確保基金のさらなる増額が必要
今後とも、整備協議会が一体となって、国及び関係要路に働きかけていく必要がある
- ⇒ 整備費の着実な低減を行いつつ、引き続き財源確保に取り組んでまいりたい